

# 京都教区時報

小教区の貢一松阪教会

特集一教会学校報告 “私たちに何ができるか”

第93号

発行所

京都市左京区仁王門通新高倉東入

京都カトリック教理センター

広報室 (Tel 761-9095)

編集責任者 村上透磨

編集部 教理センター

田中司教認可

涙をはなめるのに、追いかけて、栄養失調の子供達。動く事も出来ずに、枯れた土地に横たわる子供達。

出ないお乳を空しくふくませよう

とする母親のうつろな目。わずかな給食を得ようと立ち並ぶ人々の群。

今、世界で飢えている人々が何億ともいます。あ、可哀想ですまさない心の痛みを感じませんか。もしも

の飢餓が私達の責任であると言つたら誰が信じる事が出来ましよう。でも、もうなんです。私が、あのひでりと飢餓に參與している事を感じるべきでは。私達は改心を信仰や罪の面だけの問題だと思っています。でも、生き方そのものが問われているのではないかと思います。

十一月三日、京都ウォーカソンに参加して下さい。今年はアフリカの飢餓地帯の中心、ブルキナファソ(旧オートボルタ)の飢えている人々と共に歩きたいと思います。彼らは飢えていて歩けない人が多い、それならこの人々にかわって歩きましょう。彼らが一步でも自分の足で歩ける様に、みなさんの御協力をお願ひします。

尚ウォーカソンは、ただ募金活動だけでなく、特にスポンサーとの接觸を通じて、福音宣教のよい機会ともなり得る事を考えましょう。

この子のために歩いてあげたい!

11月3日(祝) 京都ウォーカソン

泣かないで……あなたに ほほえみがもどる日はいつ?



写真提供 船津健一(毎日新聞社)

## 司教の足どり

6月～8月



- 6月  
27日 金剛流能家元一行のローマ行き  
の件で関係者と面談。  
28日 古屋司教お見舞とお祝い。  
30日 ND小学校の山の家祝別(滋賀途  
中)
- 7月  
1日(日) 東門、斎木師銀祝ミサ。平和の  
歩み学習会。  
2日 司祭評定例会。  
3日 平城NT合同会議。  
4日(日) 24日カナダ旅行(休養、修道宣教  
会本部表敬訪問…NYを含む十ヶ  
所)  
26日 ローマ諸宗教聖省アジア担当官  
T・ミッショニエル師来日。  
27日 IARF(国際自由宗教連盟)  
第25回全国会議(東京)。
- 8月  
31日 M.M管区長と面談。神学生来訪。  
30日 マリスト会副総長来訪。  
31日 コリアン・センターワークshop  
4日(日) 平和旬間に伴い広島巡礼  
(中学生グループ約60名と共に)  
9日 古屋司教見舞い。T師と面談。  
10日 横浜小神学校長來訪。  
12日(日) 平和への歩み学習会。

## 教区短信



10月14日(日) 四日市教会堅信ミサ。

10月15～19日 教区付邦人司祭默想会  
(於M.Mハウス)10月23～31 H.S.I.R.A.VI(諸宗教、於  
タイ)

11月3日(火) ウォーカソン(京都)

11月4日(水) 大和八木25周年堅信ミサ。  
11月5日(木) 司祭評定例会。

11月11日(木) 桑名25周年堅信ミサ。

11月18日(木) 富雄堅信ミサ。

11月23～24日 教区創記念日。駐日バ  
チカン大使、W・カルル

大司教の教区公式訪問。

14日 衣笠幕參。女子カルメル会訪問  
15日 聖母被昇天祭。大和郡山教会信  
徒館祝別式。  
16日 タイ・ウボン教区のルエン師  
(数日宿泊)と五山送り火観賞。  
20日 幼きイエズス会新管区長來訪。  
21～24日 教区内司祭修道者夏期研修会  
(於宮津、約28名参加)

この秋、あなたもチャレンジ!  
**聖書週間プログラム**

◎書道作品募集

●主催 京都教区・京都カトリック  
リック教理センター

◎書道作品募集

趣旨 聖書を生活の中に入れてゆく  
出品資格 児童の部・幼児・中学生  
成人の部・高校生以上

出品要領 出品点数：1人2点まで  
書体・大きさ：自由(書体なし)

出品料：1作品に50円(50円未満は1作品)

送り先 京都カトリック教理センター  
606 京都市左京区仁王門通新高倉東  
入ル 3(075)-752-0057, (075)-751-0095

展示会場 京都カトリック会館6階  
展示会期 10月29日(月)～11月3日(火)

●聖書朗読コンテスト

趣旨 聖書に親しむ。典礼の中でも聖  
書を正しく読む。

応募資格 中学生以下 15名  
高校生以上一般 15名

朗讀箇所 参加者が随意に選ぶ(以降)  
申込〆切 10月31日 教理センター

日時 11月11日(日) AM10時～12時  
場所 京都カトリック会館6階ホール

## 新作スライドノアのはこぶね

●ステレオ・テープ ●ガイドつき

作・G・フッセネガー 絵・A・フックスフーバー  
おはなし・京田尚子、野島昭生 他  
42コマ/11分 定価12,000円 対象 幼児～成人

人類史のあけぼのに、神と人びとの間に  
くりひろげられた壮大なドラマ。ノアとか  
わされた平和の契約――。

ダイナミックなサウンドによる、旧約聖書  
「ノアのはこぶね」の映像化。



東京都港区赤坂8-12-42 視聴覚部 Tel.(479)3574

## くりすますのおはなし しあわせな ろば

●ステレオ・テープ ●ガイドつき

絵・文 ふじもとしろう 21コマ 6分  
おはなし・高橋満里子 定価7,800円  
対象 幼児～小学校低学年



## 京都教区主催

## 中学生の広島平和巡礼

8月4日～6日



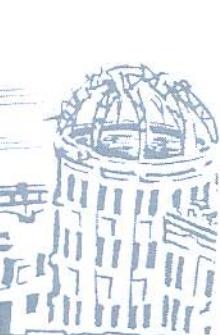
八月四日、九時、京都教区の中学生、五十人余、リーダー、九名、神父様、二名（越知神父様、トム・オカーナ神父様）は、河原町教会に集合し、田中司教様から、お話を聞き、祝福を受け、広島へ出発しました。二台のバスで行ったのですが、その賑やかなこと、騒々しいことは、始めて出会った人達もすぐに仲間になってしました。九時間近いバスの旅、例年ない猛暑、心配した病人もせず、夕方、無事、蟻町カトリック教会に到着。蟻町では、神父様はじめ、青年会、中学生会の方々の温いお出迎えに、皆、疲れも忘れたことでした。この教会で、私達は三日間、お世話になつたのです。私達のスケジュールは、大体左記のようなものでした。

五日、午前中、市内の高校生に案内してもらい、平和公園、平和記念館を見学する。午後、西尾先生から「神様の為に働く人は平和をつくることができる。平和はまず『出会い』から始り、いろいろな思想を越え、理解しあい、つくりあげていくものだ。」というお話を聞き、被爆者である長谷川神父様からは、神父様ご自身の戦争体験を聞かせて頂きました。その後、平和記念ミサにあすかり、蟻町教会から平和公園まで平和行進。

六日、原爆慰靈祭の默禱に参加し、正午、帰途に着きました。中学生会広島平和巡礼団は戦争に対する罪悪感、平和に対する熱い希望を、感受性の強い中学生に持つてもらおう、という目的で結成されました。スケジュー

ルがぎっしりで、平和について話し合う時間や、友達との仲を深めるリクレーションの時間が、殆んどありませんでした。が、皆、色々、原爆、核戦争について、始めて肌を感じ、そして、いろいろな事を考えたようです。

私は、記念館で見たビデオの「原爆の恐しさをすでに体験している私達日本人は、このような事を二度とおこしてはならないのです。」という最後の言葉が、今でも心残っています。広島にいること、長崎にいること、そして、日本にいることは、原爆、核戦争について考えることなのです。戦争は、一度に二十万余の生命を奪いました。人々は、亡くなつた方々の前で、「安らかに眠つて下さい」と誓いました。その誓いを世界中で、唯一の被爆した。その誓いを世界中で、唯一の被爆国であるこの日本が、特に果さなければならぬのです。広島に行つた者として、先生や、神父様のお話、自分の考えた事を大切にし、「私は、平和の為に何ができるのか」積極的に考え、例え、ほんの少しでも、神様と、そして仲間と手をとり合ひながら、平和の為に働いていきたいと思つています。



## 巡礼の旅で学んだ事

僕は自分自身この旅をしてきて本当の

平和というものが何であるかということを改めて知ることができました。資料館で、被爆したかわいそな人々の写真や遺品を見ているとやはりこういう悲惨な出来事が実際に日本で広島であったのかとつくづく思いました。

それに、自分自身も被爆者である長谷川神父様の貴重な体験などを聞かせてもらひ、今まで單に口先だけで、平和平和と言つてきた自分の心にこそし本当の平和というものを分からせてくれた様な気がしました。

それに、平和を大切にと思つていながらもただ横から眺めていただけだった平和大行進にも参加させてもらつたし、原爆のあつたことを証しする原爆ドームも自分の目で見てきたし、一生の記念となりました。これからは今までの様に考えもなしにただ平和平和というだけではなく、平和というものを、少し違つた目で見ていこうと思います。(文集から)

## 京都教区時報

## 司祭評議会定例会議報告

今年に入り、5回の定例会議が行われました。その事項をまとめて報告したいと思います。

尚8月1日付の司祭評議報告は、正式のものではありませんので御了承下さい。

一京都教区司牧評議会設立準備委員会について。

5月28日の会議で話され、司牧評議会の設立に向けて動いていく事になりました。尚、内容は8月1日付の報告を参考して下さい。今までは、司祭評議会で決定して司教様に答申していましたが、設立後は、司牧評議会で決定し、司教様に答申していくようになります。

一教区創立50周年にむけて。

昨年9月と今年2月、3月の会議で話され、司祭評議会案にまとめて、アンケートをとることになりました。しかし、5月28日の会議で、教区全体の大きな事でもあるので、先ず司牧評議会準備委員会をつくり、京都教区創立50周年にむけての教区レベルの事柄を取り扱う事にしようということになりました。

尚8月1日付(教区報No.92号4頁)の司祭評議会案の内容が、間違つて掲載されていますので、左記の通りに訂正いたします。

「(1)の記念誌について。(1)の主旨(2)は、比較的大きな教会、或いは活動的な小教区や、指導的立場にある人々の意見はもとより、弱い立場におかれている人々の歴史や立場もできるだけもれなくとり上げる。」

「(2)司教團の「日本教会の基本方針と優先課題」と教区ビジョンについて」

今後、具体的に取りくんでいきます。

一司教座聖堂の障害者用リフトについて。

エレベーター設置で検討されていましたが、リフトをつけることになり、現在設置にむけて動いています。

尚、8月1日付(同上)の障害者用エレベーター設置について、「弱い立場に置かれている人々に心と場を開くと云うビジョンの具体化の一つとして、5月の集りで、司教座聖堂(河原町)に車椅子の人々が自由に入れる様にしたい」という提案があり、これを取り上げて河原町教会を含めて検討委員会をつくり、練ることになりました。これが具体化の晩には、河原町教会をはじめ全教区の信徒各位の協力を期待すると共に、各教会にあっても障害者を開かれた教会作りを検討される様願っています。

駐日教皇大使の公式訪問について。

11月23日(祝)洛星で行われる「平和への歩みの集い」に駐日教皇大使を迎えます。1時から4時30分迄で、講演会とミサがあります。多数の参加を望みます。尚22日夜(26日)の間、各地区を訪問されますが、詳細は未定です。

司祭・修道士研修会について。

毎夏開かれており、今年は、京都北部のことについて学習しました。

一聖香油のミサについて。

聖香油のミサを3月29日夕方7時から行いましたが、来年も聖木曜日の日ではなく、3月28日(午後7時から行う事になりました)。

その他

## 京都教区司牧評議会設立準備委員会合宿議事録

さる9月14日(金)8時~15日(土)4時まで、各代表25名の出席のもとに、司牧評議会設立準備委員会が開かれた。

これはビジョンの具体化の一つとして、司牧評議会設立準備委員会が開かれた。

これは、各代表より各2名ずつ選出する。

(3)上記(2)以外に、各層、各分野の偏らない層から20名を選出する。

(4)上記(2)は、各ブロックから推選の修女連、信徒連ともに設立への要望があつた。また公会議の中にも、司牧評議会設立を期待し、その性格を規定するものがあった。

(5)「40名以内」の評議員の中から常任委員選び、常任委員会を発足させるものがあった。

一、京都教区司牧評議会設立について。

(1)京都教区ビジョン推進連絡協議会を作成する時、次の決議をしている。

「教区レベルでの問題解決は、ビ推進協議会ではなく、別の教区レベル機関(司牧評議会)を設置してそこに委ねる」司祭評議会設置を要請している。

(2)新教会法による「教区司牧評議会」について説明をする。

決議(京都教区司牧評議会設立に全員賛成)。

三、ビジョン推進連絡協議会の取り扱いについて。(未決)(司牧評議会への委託)

(1)各ブロックから2名の代表を各ブロックで推選してほしい。10月末迄に。

(2)それ以外の、各層、各分野からの代表として適しい人を別に推薦してほしい。推薦理由をつける。10月末迄に。

(3)それらを司教に提出し、司教が任命する。

(4)上記の推薦者を記入する為の用紙を、各ブロック代表に教区事務所から送る。

(5)評議員が任命された段階で、次回の会議について決める。

# 修道女・信徒と 共に学ぶ

## 松本三朗神父講演(上)

修道女連盟研修会



この前の修女連の集りでの越知神父様が今、私達の教会で、本当に皆が一丸となつて、教会が一つの目標に生きなければならぬ時代だと話されたのを聞きましたが、私も同じことをつくづく感じます。私達が教会の中での役割り、カリストをもつと意識する必要がある様に思ふのです。一人一人の人間が聖霊の恵み、つまり、皆に奉仕する為の宝を頂き、宝を通し教会を通して、全世界の救いの為に、キリストの御業を行う為に、与えられたそれぞれの持ち場とか役割、すべき事がある。特に修道者とか司教とか、そういう役割も大切な事柄として捕えなければならない。カリストとして捕えるという事は、つまり、それがお互いの為になるという事です。例えば司祭職というの司祭自身のためにあるのではなくて、これは共同体の一致と共同体の成長のためにある役割なんです。修道生活もあくまでより大きな教会共同体のためにあるもので、修道会のためのものではない。当り前の事なのですが、第二バチカン公会議で非常に意識して強調しています。

修道者とか、司教とか、信徒というそれがカリストというものは自分自身だけで見ているよりも実は、お互いがお互いの役割の違いを意識し、相手を尊敬し、そしてお互いが相手を学び合う所において始めて、自分の独自性というものが理解され、成長して行くのではないでしようか。人間でも、自分が何者かといふ事を発見してゆくのは、実は自分以外の他者とのふれ合いにおいてです。そうやって人間は成長し、他者との出会いの中で自分自身を確立し、成長し、満たされて行く。それと同じ様に教会の中でも、違う役割を持つた、違うカリストを持つた人との出会いの中で成長しなければならない。カリストとして捕えると、富というのは一つの価値です。神から人間にまかされた良いものである物質をも知り、そうやってキリストの身体である教会が出来上がって行くのではないにまかせない、そのつながりの中でこそ、自分たちの持つてある美しいものが出来る、そういう事がキリストの身体であり、カ

リスマによってお互いに結び合わされている教会の大きなすばらしさではないかと思うのです。

その例として、イエス様が呼びかけておられる福音的勧告、言わば、従順、貞潔、清貧についてふれながら、修道者と信徒との関係、役割の意味を考えてみたいと思います。第二バチカン公会議において、福音的勧告には修道者だけではなくすべての信徒が呼ばれているという事がのべられています。この点で一つはつきりさせて置くべきことは、例えば、「召命」という言葉に多くの人は真っ先に神父さんとか修道女とか思い浮べます。しかし、一番大切な召命は何ですか?それはキリスト信者でしょう。キリストの弟子に呼ばれた人が、自分の具体的な生活の中での根本的召命をどう生きるかと

いう事の中に、信徒としての道を選ぶ人もあれば修道者としての道を選ぶ人もいる。しかし、それがやっぱり召命に生きるのでから、すべての人がキリストの弟子としての従順、清貧、貞潔に生きるよう招かれています。唯、その表わし方は違います。清貧という事を考えると、富というものは一つの価値です。神から人間にまかされた良いものである物質は单なる物質だけでなく、あらゆる事から自由になる。自分の名譽欲から、事業欲から自由になることも含んでいます。

信徒の清貧のあり方だけでは、富の肯定的価値は示せてもその限界と目的はそれほどはつきりしない、修道者の清貧のあり方は富の限界とそれが手段にすぎない事が示せても、その積極的価値と目的はあまり明確でない。信徒と修道者二つの生き方があつてこそ、私たちは世界に物の意味と価値またその限界を見せる事ができると思うんです。

## 第三回平和への歩み学習会

### 「核問題、環境、平和」講演要旨

講師、植田 功氏（精華大学教員）

生きものはみな、自らの中に「生の設計図」を持っています。今、これが人間の做り、特に科学文明によつて犯されつ

つあり、現在死亡率第一位のガン等はこの生の設計図が犯されている事の一つのしるしであります。ではその事が平和とどう関わりがあるかと言う事ですが、ま

ず人間の生命は一日にして、孤立して出来たのではなく、何千何億年の生の営みの中で、又、自然との関わりの中で、今日私達が生きるための生命の設計図が出来あがつたのです。科学文明は、本来それを生かす側にある苦の医学（特に薬品、食物（特にインスタント物や添加物）によって、それをこわしてしまおうとしています。

現在、科学文明と経済的繁栄は外見上日本の国に幸せをもたらした様に見えますが、しかし、これがどこから来たかと言えば、隣人の血と汗と涙の結晶によつて豊かになつたと言う事です。戦後の混乱から日本を立ち直らせたのは、隣の韓国・南北戦争だったわけです。

（更にベトナム 編者注）日本が高度経済成長所得倍に浮かされる様になつたのは、戦争を踏み台にして、

得たものなのです。

一九六〇年代エネルギー革命がおこり、石炭から石油へと変わりました。石油はエネルギー源だけでなく、食物にまでも入りこんできました。

同時にオートメーション化が、工業界に大きな変革をもたらしました。それにたまたみかける様にしてやつて来たのが、あのオイルショック。狂乱物価、企業の倒産、完全失業率24%と言ふ様な事態が生れました。これは世界的なもので、更に貿易まつは、紛争を呼び、戦争のきな

くさいにおいがただよい始めます。

現在文明は、石油資源、金属資源に頼り、これらが無尽蔵にあると錯覚し、何十億年もかかるて作りあげたこの資源を

たりする事だつて……）電気は、原子力発電によるものです。さて、今100万キロワットの原子力発電が一日に出す灰は、

広島型原爆の3発分にあたります。死の灰は生物学的にも、化学的にも処理出来ません。長崎型のプルトニウム239の灰の半分を失くすのに2万4千年かかります。この灰の一万分の一を受けたら肺ガンになる。この事は何万年先の人間にまで、被害を押しつける事になるのです。

こう言う問題を無視して、平和が紳士達によって語られ、宗教家もこの事について黙して語りたがりません。現代化学の横暴が生み出した、公害問題、例えれば水俣問題にしろ、森永ヒ素ミルクの問題にせよ、警鐘として見るべきだつたのに、ただかわいそだとか、けしからんとまでされています。

三十先の子供、孫の代になって、今の生活の基礎になつてゐるこれらの資源がなくなつたら、どうなるのでしょうか。これももう子供達への横暴以外の何ものでもありません。

森にしろ田畠にしろ、それは生命の根源であり、共生の場です。そこに見事な調和があつたのです。それを自然は自分の

これはきれいなエネルギーだと、これを使わねばエネルギー源がなくなつて生きられないとか、まことしやかにウソが語られています。そんなウソは一杯あります。

例えば、現在、私達が無駄に使つている。（見えるのに電気をつけていたり、ち

ょつとした階段でもエレベーターを使つたりする事だつて……）電気は、原子力

発電によるものです。さて、今100万キロワットの原子力発電が一日に出す灰は、広島型原爆の3発分にあたります。死の灰は生物学的にも、化学的にも処理出来ません。長崎型のプルトニウム239の灰の半分を失くすのに2万4千年かかります。この灰の一万分の一を受けたら肺ガンになる。この事は何万年先の人間にまで、被害を押しつける事になるのです。

こう言う問題を無視して、平和が紳士達によって語られ、宗教家もこの事について黙して語りたがりません。現代化学の横暴が生み出した、公害問題、例えれば水俣問題にしろ、森永ヒ素ミルクの問題にせよ、警鐘として見るべきだつたのに、ただかわいそだとか、けしからんとまでされています。

世界の平和を実現するためには、生命を奪われている人々の武器を取らない戦いが必要でしよう。

世界の砂漠化は、人災であつて天災ではありません。我々が緑の世界をくずしていくのです。核戦争がなくても生命は破滅へ向つています。今我々に出来る事は、この物質、科学文明に害された自分の生

自由にしてよいと、思いあがつた人間が、自分達だけの損得だけで、自然の中の生きとし生きるもの生きる権利と役割を考え、利用し改造しようとしたのです。

現在起つてゐる種々の自然現象、又現代の痛みと言われるものは、その様な人間のおこりから來ているのもとを考えねばならないのではないでしようか。

去年一年、世界中の到るところで血なまぐさい戦争が行われていました。

発展途上国は、近代化への努力をしました。それはしかし、富める国からの借金ではじめられたもので、石油ショック等にあうとたちまちだめになります。そ

ういった国々で、一般的な現象となつてゐるのは軍事国家であります。武力により不満分子をおさえようとするのです。するとお金がかかる借金をする、不満が出る、不満をおさえるために敵を作る。国境紛争がおこる。この様な国式が現在の世界情勢なのです。軍備は豊かな国から買いつけるわけで、これによつて富む人がいる国は自国の経済的破たんを補う事が出来るわけであります。

ここで七つ程の質問が出されました。それに対しても氏は概ね次の様に答えてました。生きると言う事は観念的に考える事ではありません。それは長い歴史によって生きがされているものが、生物的条件、環境、歴史によって生かされていると言う事なのです。又先にも申しました様に人間が一人で生きている事はなく、互いに生きかれているだけでなく、自然の中で生きかれているバイキンだって人間と共に存しているのです。互いに生かされ生き合っている。自然にはこのバランスと言ふものがあります。人間はこのバランスをくずしてしまいました。科学は罪なものだと思う罪科の科学者になりたくなっています。でもサイエンチスト「知者」でありたい。これは、コンサイエンス「良心」の持ち主でありたい。それは知つてはならない事を知るのではない。知るべき事を知つてはいる、そしてそれに沿って生きる事を意味します。「家つき、カーフき、パパアーバー」と言う精神は横暴な科学とその技術を受け入れた。つまりおばあちゃんの知恵を失いました。ミソの作り方、食事のつくり方、つくるいの仕方……。おばあちゃんを無視した時、暮らしの知恵が失われ、残るのは老醜のみです。世の中は矛盾だらけの生活です。その矛盾だらけの生活を認める事から始めねばなりません。人は完全に生きる事なんてあり得ないのです。では出来る事をまわりの人々と共にいねいにやつていくしかないのです。具体的に、今の状態

を脱皮出来るかどうかと聞えはそれは出来ないと断言します。評論家の立場として語るなら出来るかも知れない。でも評論家の立場で物を語っている限り事実は何もよくなりません。でも「○○%解決出来なくて、解決出来る様に努力する責任をもつていて」エネルギー問題は破壊への道をたどり始めている。工業的資源の行きづまりがあり、更に20年後、食物をめぐって目を血はらせる時期がきっと来る。これは私が予言します。

原理的にはもはや選択の道は閉ざされています。そこで例えば、自動車を走らせられない時間が確実に来るなら、自動車を走らせなくとも過せる様に今からなれさせておく。使わなくとも生きられるのにどうして使うのでしょうか。各自自分の生きる原理を持たねはなりません。その原理によつて生きなければなりません。文明は基本的に罪深いものであると言ふのがキリスト教の根本思想にあるのではないかと思います。人相が知恵の実を食べた。そして追放された……。

現代の私達はこの文明を離れて生きる事は出来ません。そこで出来る事は、その中で、限界とひすみとを謙虚にみつめ、捨てられるものを捨てていく勇気が必要なのです。最後に戦争について申しあげます。私は質素な生活は、エンゲル系数は驚く程へりましたが、しかし食べるに困らなくなりました。

(1)社会全体の生活の原理が変わなければ戦争や平和を語つても無益です。

(2)運動体の必要性

しかしその時、自分の足もとをみつめ、反省し、出来る事から始めねばなりません。一つを変えれば全部が変わる。自分は文明に毒され、生命が犯されている事を認めた上で、その中で知恵を働かせて自然と共に生きてと言う事が大切だと思うのです。例えば人間は自然の循環の世界で見直すべきです。

抗生物質のよしあしについても考える必要があります。生死は常に密接に結びついていて、死は悪いものだと言う考えがあります。だから凡ゆる科学的医学的手段を使って延命させるべきだと言う考え方があります。そこで例えば酸素呼吸器を使つて延命させるべきだと言う考

## 梶田勘氏の紹介

一九七九年、京都大学工学部助教授(金属物理学)を、自己の信念に基づき辞職、現在精華大学教員をしておられます。又、一九八一年夏から毎月第三日曜日六時半から、京都市役所から円山公園まで反核デモをして一人でも歩き続けておられます。氏の理念は例えば次の書に表われています。

破滅にいたる工業的くらし(樹心社) 未来へつなぐ農的くらし(樹心社)  
工業社会の崩壊(四季書房) 共生の時代(樹心社)等があります。

これからどうする社会とくらし(使い捨て時代を考える会)創立  
十周年記念シンポジウム(樹心社)等があります。又飯沼二郎氏との共著として農の再生、人の再生(人文書院)がある。是非、読をおすすめします。氏の言葉は警世の辭であり、一キリスト者としては勿論、一市民としてよく考え直してみると必要がある様に思います。

紙面の都合で講演内容をすいぶん割愛しましたが、自然破壊→工業化社会→使い捨て時代→戦争への傾斜→核への恐怖、と書いた関係を述べられた氏の講義内容が十分理解していただけたでしょうか。何にも意識せず、せいたくに甘んじ、使いたてる事は、平和を捨ててている事になるんですね。

# お知らせ

## ◆駐日教皇大使京都教区公式訪問

11月22日(木)夜～11月26日(月)夜

「平和への歩み学習会」の流れの中で  
駐日バチカン大使が、京都教区を公式訪問下さる事になり、左記の通り(11月23日)大使を公式歓迎し、共に平和を祈ることになりました。

## ◆平和への歩み学習会

京都教区公式訪問

教区創立記念日 11月23日  
——平和への歩みの流れの中で——

テーマ：「戦争への傾斜」と  
キリスト者の姿勢について

日時 11月23日(木) PM 1時～4時30分

場所 洛星高等学校講堂(京都・北区小松原南町)  
式次第

第一部 PM 1時～2時45分  
「戦争への傾斜とキリスト者の姿勢」

発題者 山田経三神父 SJ  
(米国司教団平和牧書にもとづいて)

第二部 PM 3時～4時30分  
「平和ミサ～大使を中心と共に式」  
詳細は各小教区へお問い合わせ下さい。

担当 司祭評、修女連、信徒協

## ●司祭移動

龜岡教会主任(4月10日付)

アントニオ・バルデス神父(ダニエル・セ

〒601 京都市南区東九条東岩本町33  
☎ 075-691-5615

又抽選券の販売にも寄せています。

ので併せてよろしくお願ひ致します。

## ●平和への歩み学習会

テーマ：「キリスト者の人権と平和への姿勢」

日時 10月28日(日) PM 1時～4時

場所 京都カトリック会館 6F  
演題 「労働問題と平和」 担当 (ATOC)

主催 平和への実行委員会

## お詫び

No.92号一貫に掲載いたしました右記の9月月学習会(担当 子羊会)に於いて9月13日とあるのは誤りで、9月30日が正しく、訂正してお詫び致します。

## ●南信協婦人部バザー

目的 いこいの家基金

日時 12月2日(日) PM 2時

場所 京都・河原町教会

主催 南部信協議会婦人部

御寄贈品(新品)、や委託品、模擬店など

又お手伝いと協力もお願い致します。

## ●日本二十六聖人「長崎への道」巡礼

日時 10月14日(日) AM 9時～申込先

コース 五重塔・聖母像・山手教会・中山手教会・西門教会・宣教室

日時 10月13日(日) PM 5時～申込先

コース 五重塔・聖母像・山手教会・中山手教会・西門教会・宣教室

## ●第2陣 第11回巡礼

日時 12月9日(日) AM 9時

集合場所 電鉄須磨駅・阪急東入出 口集合

講師 松本三朗神父

ノートルダム女学院奨学生会

ノートルダム女学院高級生会

ノートルダム教育修道女会

## 第20回 召命鍊成会



主催 京都教区召命促進委員会

## ●応募資格

1. 京都教区のカトリック信者で、来年度ノートルダム女学院高級生会

2. 経済的事情のある人

3. 応募期限 11月20日

## ノートルダム女学院奨学生会

創立者マザー・テレサ・

ゲルハルディンガ奨学生会

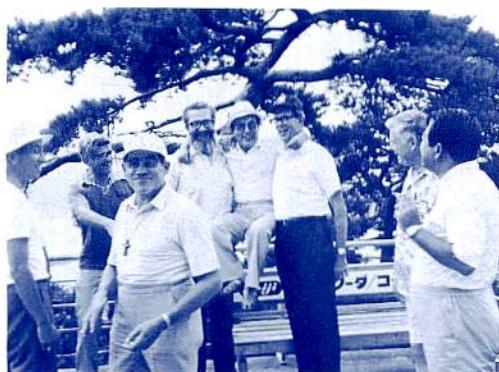
リーダー養成コースのミニ講座(信徒使徒

職の具体的な話)、半日の講座(黙想会)が行われた。今後とも、このような講座(黙想会)が行われたいことを実現する事を望みたい。

## 司祭修道士夏期研修会

8月21日～24日 於 宮津

宿泊 茶六別館  
会議 労働会館  
ミサ 宮津教会  
出席者 27名



一、まず、くつろぎから

23日、横田師運転のマイクロバスに便乗。天の橋立・丹後六教会・丹後半島を見学。橋立では信徒の浜本さんの御好意により、ボートで遊覧。

半島巡りの途中、水泳を計画したが、波高く断念。司教様も残念そう。

残った数名の神父様方はテニスを満喫。

二、研修 ①司教の挨拶と近藤師の京都北部の教会の宣教の歴史と現在の福音宣教

論を述べる、  
②司牧評議会設立の要望  
③信徒使徒職と養成の問題。  
④適性配置の問題。

### 四、司教の話題要点

アジア司教會議の今回の課題は、「信徒について」である。今年六月に司教団が出した「日本教会の基本方針と優先課題」は、神の民である皆が宣教に遣わされているとして、信徒の使徒職とその養成を中心課題としている。今は信徒の時代である事を強調された。

①いろんなセミナーや講座、集いによつて、布教は夫婦がらみでなければならない。  
キリスト教講座を通して思う事は、布教の大切さを学んだ。

◎藤村さん（峰山）

教に対するいくつかの示唆。  
②翌日5人の京都北部信徒代表による、信徒として福音宣教について思う事、願う事を話していくなど。

③近藤師の話、信徒代表の話から、特に問題となつた事を四つにしはり、三つのグループに別れて話し合つた。

四つの問題とは次の通り、  
1、説教の問題。  
2、冠婚葬祭の問題。  
3、信徒使徒職と養成の問題。  
4、適性配置の問題。

六、5人の信徒の話、  
◎梅原氏（綾部、北信協を代表して）  
全体の関心のあるもの①司祭、シスターの役割がもう一つ不明確・②大祝日以外に来ない信徒の事・③行事を行う際しての司祭・信徒間の十分な事前の話し合い。④わかりやすい説教。

◎花本さん（西舞鶴）  
西舞鶴の婦人部の少し特異な組織と、活動の持ち方の説明があつた。

⑤子供の要理教育教会学校聖書研究の伝透。⑥冠婚葬祭。特に葬式。⑦財政問題、信徒の金銭的負担、中でも交通費が大変、中には日曜日のミサにあずかるの様なもの。又、三泊四日は無理な場合が多いので、一泊二日を何回かに分けてするとか出来ないものだろうか、リーダ養成より一般信徒養成の様なものが出来ないだろうか。

◎池田氏（網野）  
「記憶のいやし」を通じて変わつた事。そこから、布教の原点は、最初の私の言葉のひびきが相手に大きな影響を与える。

◎二条氏（丹後六教会青年会会长）  
①青年の考え方と傾向、かなり受動的な体勢が強い、月一回の集まり、丹後通信

発行、7月の合宿をして、自分達のユニクさをいかして教会と社会のために出来る事を考えようとしている。

②もう少し社会全体の動きの中で見直していきたい。そのため具体的な指針を求めていた。福音の精神としっかりとし

た価値観を持つ事が要求されている。

以上が話すの要旨である。以上をもと

に前述の4つの問題点にしはつて話し合

いがなされた。それについて何らかの形でいつか報告したいと思うが詳しい事をお知りになりたい方は教区事務所に保管

してあるので御覧下さい。以上簡単な報告を……

て靈的にならざる事を感じていて、信徒は靈的な指導を求めていた。

②婦人として、子供の事と切り離せない事。心の問題、神に

摘要がなされた。尚一つの興味ある事として初期の宣教のやり方に、宮津を不動にし舞鶴の担当を変えた。又この二つの教会

③子供以上に忙しい母親。その中で地域の交流を大切にし、祈りの時を大切にす

て広範囲にわたり宣教がなされた事。

④嫁として仏教との関わりが難しい問題。

◎花本さん（西舞鶴）  
西舞鶴の婦人部の少し特異な組織と、活動の持ち方の説明があつた。

次に信仰を深めるために、神との出会い、人との触れ合いの大切さ。又信徒養成講座に出していくだけで自分も変つた。

司祭方も参加してほしい。

◎二条氏（丹後六教会青年会会长）  
①青年の考え方と傾向、かなり受動的な

体勢が強い、月一回の集まり、丹後通信

発行、7月の合宿をして、自分達のユニークさをいかして教会と社会のために出

来る事を考えようとしている。

②もう少し社会全体の動きの中で見直していきたい。そのため具体的な指針を

求めていた。福音の精神としつかりとし

た価値観を持つ事が要求されている。

以上が話すの要旨である。以上をもと

に前述の4つの問題点にしはつて話し合

いがなされた。それについて何らかの形でいつか報告したいと思うが詳しい事をお知りになりたい方は教区事務所に保管

してあるので御覧下さい。以上簡単な報告を……



## 日本・イタリア文化交流

たきぎ  
のう  
薪能



## 第2回 聖母行列

## 報恩寺教会

報恩寺教会では、聖母被昇天の前日8月14日夕刻、第2回聖母行列を実施した。合宿訓練中の上智大学聖歌隊有志約20名の協力を得て、炎天続きの夏の日射しも漸くかけた頃、稲田を渡る風もさわやかに、聖歌とロザリオの祈りを唱えながら、地区内約一キロを行列した。

その後、小さき花幼稚園園庭で近藤師、ラソンド師、横田師共同司式のキヤンドルミサが捧げられ、100名を越す綾部、福知山一つとなつて聖母を讃美し、主の榮光をたたえた。また聖母行列に先立ち、上智大学聖歌隊有志による約40分間のミニコンサートが行われたことも意義あるものとなつた。

(野田記)

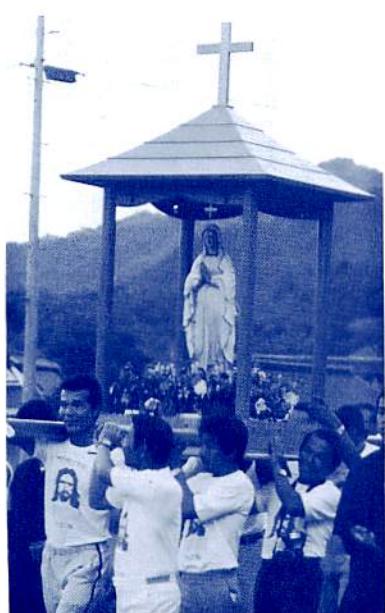
奈良ウオーカソン  
9月24日(祝)

9月24日(祝)、奈良司教評主催による、

奈良ウオーカソンが、奈良教会を10時出発、平城ニユータウンへの約8キロの道を、約400名の参加のもとに行われ、ニユータウンの中にある、教会施設建設予定地において司教主式の共同司式で有終の美を飾った。

募金先は、11月3日予定の京都ウォーカソンと同じ、オートボルタ(8月4日にブルキナファソ(清廉潔白共和国)と改名)に送られる。詳しくは、後日報告したい。

又、舞鶴日星高校の生徒達が、同じ目的でこの秋、ウオーカソンを計画中である。



六百年の歴史を持つ金剛流の薪能が七月二十二日、ローマ教皇の別荘、カステルガンドルフォの庭園で行われた。私は写真班として同行した。

夕陽が沈み、森が静寂につつまれる頃、天竜寺の平田精耕師と、この企画の交渉をされた横浜教区の濱尾司教のスビーチで始まり、まもなく、

四基の台にかかり火が燃える。その中、囃子と透き通つた声と笛の音にさそわれるよう

に、金剛流宗家による「羽衣」の舞が、一時間に渡つて美しく佳麗に演じられた。

熱心にご覧になつた教皇様は、天女の舞にどのような印象を受けられたのか。私はふと、

この日本、イタリアの文化交流が、日本のかつての文化の豊かさを示すものだと感ずた。

(河原町教会 島崎賢児)

聖母行列(報恩寺教会)



ブ  
ロ  
グ  
ラ  
ム

	1日目 (7/28土)	2日目 (7/29日)	3日目 (7/30月)
7:00		起床 朝の祈り・ゲーム	起床 朝の祈り 食事
8:00		食事	班ごとに、これからの決意まとめ
9:00		前日のカードまとめ、発表準備	
10:00	西院教会集合、お祈り 出発 西院(阪急)→四条 (京阪)→宇治(バス)	発表 大塚神父様のお話 戦中、戦後の田中安弘先生の体験談を聞く (昼食を少しにする提案) 班ごと、分かち合いによる食事	くつわ池自然公園へ 1~3年 山上大声大会 4~6年 フィールド・アスレチック
11:00	宇治 山の家着 お弁当	聖書を開いて 奉仕(労働)活動	食事
12:00			集会の祭儀
1:00	班旗作り		後片付 そうじ
2:00	開校式 決意発表		決意まとめ発表 閉校式 表彰式
3:00	スライド 難民 班ごとの話し合い	集合…労働の意味を聞く 共同祈願づくり ミサ	山の家 出発
4:00	入浴	入浴	教会着
5:00	食事	食事(すいとん、かほちゃん)	
6:00	ゲーム	キャンプファイヤー	
7:00	夕の祈り おふとんしき 就寝	夕の祈り 就寝	
8:00	リーダー→反省会 子供の感想・考えを一つ一つのカードにし、明日のまとめ方を考える。		
9:00			



第二日目 (29日)

■カードまとめ 発表

同じ意見、感想をまとめ、題をつけて

ゆきながら、模造紙に貼って、絵で作品を仕上げる。上級生のリードで、くだもの、汽車、お茶わん、街など思い思いの絵で一生懸命描いた。子供の中から、「もうれしい、自分もうれしい。」「神さまのお望み町は、幸せの海でみんなで仲良くなれる」とすばらしいまとめになった。

「みんな元気がなかった。笑ってなかつた。」「みんな元気がなかつた。笑つてなかつた。」「家も学校も勉強道具もない。きっとお正月とかクリスマスとかお誕生日のお祝いもしてもらえないと思う。」「戦争つていややな。学校で聞いたけど、日本も戦争してたんや。」「僕たちはほしいものばかり買つて、ぜいたくしてる。」「ごはんもいっぱいいたべてる。」「むだづかいもしてるとと思う。」

「スライドを見てどう思つた?」「ごはんがなくて、かわいそうや。」「赤ちゃんの足がガリガリで、大人の指と同じ大きさだった。」「みんな元気がなかつた。笑つてなかつた。」「家も学校も勉強道具もない。きっとお正月とかクリスマスとかお誕生日のお祝いもしてもらえないと思う。」「戦争つていややな。学校で聞いたけど、日本も戦争してたんや。」「僕たちはほしいものばかり買つて、ぜいたくしてる。」「ごはんもいっぱいいたべてる。」「むだづかいもしてるとと思う。」

因等を話合つた。  
では、私たちが何があげられるかの  
間に、できる事を考えた。

反応

「スライドを見てどう思つた?」「ごはんがなくて、かわいそうや。」「赤ちゃんの足がガリガリで、大人の指と同じ大きさだった。」「みんな元気がなかつた。笑つてなかつた。」「家も学校も勉強道具もない。きっとお正月とかクリスマスとかお誕生日のお祝いもしてもらえないと思う。」「戦争つていややな。学校で聞いたけど、日本も戦争してたんや。」「僕たちはほしいものばかり買つて、ぜいたくしてる。」「ごはんもいっぱいいたべてる。」「むだづかいもしてるとと思う。」

「何かしてあげられるかな?」「募金とか献金とかして、お金とか服とかいるものを送つたげる。」「家の作り方を教えてあげる。」「自分の食べ物を分けてあげたい。」「僕らも無駄使いせんようにする。」「大きくなったら看護婦さんになつて助けてあげる。」「写真をとつて、難民の人の事みんなに知させて、考えてもらう。」「総理大臣にも考えてもらう。」「神様にお祈りをする。ごはんが食べられて死ぬ人がなくなるように。」「おやつをやめる。」「困つてる人に親切にする。」「いっぺん、自分たちのできる範囲で、その人たちの苦しみを味わつてみる。」

日本での戦争、戦争の原因、どれほど悲惨な出来事があつたか、どれほど人々は飢えていたか、体験を交えて話して頂いた。子供たちは改めて難民が他人事で

■田中安弘先生から

日本での戦争、戦争の原因、どれほど悲惨な出来事があつたか、どれほど人々は飢えていたか、体験を交えて話して頂いた。子供たちは改めて難民が他人事で

ないという思いを持つた様子だった。昼食を減らす提案にも、素直に賛成した。

### ■昼食

一斤のパンとバック牛乳を班で分け合つていただく。スライドで見た、話で聞いた食べ物のない人の事を考えながら、自分でちぎつて残りを次の人に回す方法で、感謝しながら味わつた。

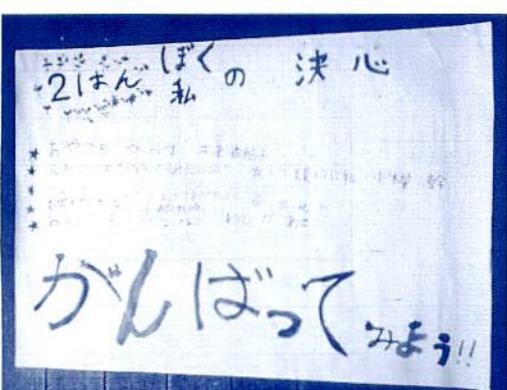
「食べ物のない人は、もつとちょっぴりなんだね。」

### ■聖書を開いて

イエス様は、特に苦しんでいた人にどう接されたか、私たちにどうしなさいと教えて下さったか；話を聞く。

### ■奉仕

人の為になる仕事をやろう！と、あき



かん拾い、ゴミ拾い、部屋のそつと等樂しみながら作業した。

### ■集合

イエス様はよい決心を喜んで下さりよい行ないを大きく使つて下さる。二匹の魚と五つのパンは与えられた恵みを分かち合つたからこそ、あれだけ増えた。各班ごとにしてきた仕事も、難民の為に使つて下さる…という話を聞いた。

### ■野外ミサ

山の家の前の広場でのミサ、マザーテレサのことばを聞いて…。

### ■夕食(すいとん、かぼちゃ)

「ごはんをしげしげみつめて…」

「先生、お米つぶ、七粒でこれつぱつちだけやつたんやね。」  
「かぼちゃばかり食べたはつたんやなあ。」

第三日目(30日)

### ■決意まとめ、発表

二日間の勉強に基づく一人一人の決意を模造紙にまとめ、全員の前で発表。

### ■決心

- 無駄使いをしない。
- 人の事を考えるようにする。
- どんな人のためにもお祈りができるようになりたい。
- 心のきれいな人になって、人にやさしくする。
- 教会に休まず行って、もっとイエズス様の事を知りたい。
- 戦争の事もよく知って、戦争のな

い平和な世界になる  
ようお祈りする。  
★がんばってみよう!!

### ■集会祭儀

「ミサ」と「集会祭儀」の違い、意味、必要性の話をして聞く。聖体奉仕者のリーダーによる集会祭儀。

### ■閉校式

子供達全員に三日間のがんばりを表彰。ヨゼフ会からの賞品をもらって大喜び。

## 夏期学校に参加して

小木曾恵美子

今年の夏期学校は、神様の子どもとしで何ができるかな？』というテーマだった。なん民の人たちのスライドを見た。前にも見たことはあるけど、いつ見てもまずしくらして私たちとちがう。同じ人間なのにどうしてそんなことになつたのだろうか？どうしてそんなことがあるのだろうか？そういうことを班にわかれてしまはなし合つた。写真や地図も見た。そ

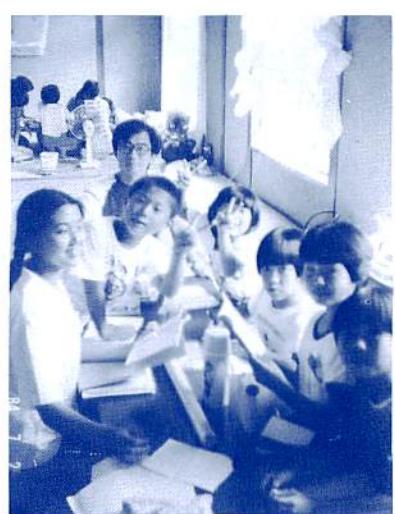
してなん民の人たちのことや、私たちのできることを、流れのよにして長をつ

2日目は戦争のことを話し合つた。そしてなん民の人たちのことや、私たちのできることを、流れのよにして長をつ

つかたまりがふえていって、さい後には神様の大きな海にたどりつく。私たちは魚で神様の大きな海でおよぐ。というこ

とにまとめて発表した。

この三日間でかんじた決心は、私の心の中のファイヤーが神様のおめぐみをすなおにうけて、まつ赤な大きなファイヤーにしたい。とつよくおもつた。(小五)



インドネシア共和国

一九四五、独立宣言をし、一九五〇年共和国となる。人口、一億五一八九万人。面積一九万平方キロ。公用語はイギリスアーディンガリヤ語。三千の島を持ち、一千種類の言葉があると言わねている。多くの人種からなる。

泳いで渡るといったような所があつたりします。田舎は皆が農家の為、集会は夜の9時頃になります。宗教の勉強をして解散するのが夜中の12時。神父様が司祭節に戻られるのが夜中の1時頃です。

インドネシアでは、5つの宗教が認められていて、何れかに属さなければなりません。それに属していない人は、しっかりと

に一度、プロ・ク毎や地区集会があり、プロ・クの長も地区長も責任感があつて、集会ではからずロザリオの祈りが一年中集まつてお祈りをしています。ロザリオの集会や10月のロザリオ日は毎日集まつてお祈りします。この時神学校の為に献金が毎回集められます。各小教区が競つて喜んで献金します。

の楽器を全部使ってます。神父様はジャワ語が話せない為、典礼は信徒が引き受け、司祭は御聖体と御血を献示するところだけです。今は女の子もミサ答え「侍者」をします。ジャワの教会はどこも大きく御聖堂も大きくて広いのですが、御ミサはどこにも信者がはみ出して外で立っている状態です。



### 一共同体について

Sr. メダン教会はカトリック信者が非常に多くて32万人位です。司祭が足りなくて多くの教会に多くても3人位。巡回地が50箇所を越えるところがあり、又この巡回地が非常に遠くて車では行けないところもあるのです。ジャングルの細い道（ネズミ道）を徒步でいくような道。履物が取られるようなぬかるみの道（裸足で歩く）。橋の無い川を頭に荷物をのせて

事を言うのです。家庭を見守るというか、育てるというか、それが父親の役なのでありますね。この儀式は何処の家庭でも行われているようで、話上手もこの所以ではな  
いかと思います。

メダンは色んな人種が住んでいて、教會の通用気は少しずつ違いますが、司祭が足りないせいもあってか、横つながりは非常によくて、各部、各教会がよく連絡を取り合い活動しています。一週間

又、勉強中の未信者でも、『みことば』の祭儀が出来るように指導されます。バタックの人たちは、とても話上手なので立派なお説教ができるのです。一つの部落の話ですが、大晦日から新年にかけての真夜中の御ミサが終り、家に帰ると両親を中心に行子たちが車座になり、非常に厳肅な感じで儀式が始まります。一人ひとり

道い個体などでは、ヨーロッパの自然主義者たちが開拓しても後が大変なので、神父様は信徒たちにそれなりによく指導されるのです。信徒たちもよく自覚しています。

りした宗教を求めてゐる為、特に田舎で勉強の機会に恵まれない人たちは、神父様が行かれるととてもよろこぶわけです。」

各小教区が競つて喜ん

に一度、プロ・ク毎や地区集会があります。プロ・クの長も地区長も責任感があつて、集会ではからずロザリオの祈りがあり、一年中集まつてお祈りをしています。特にロザリオの集会や10月のロザリオ月には毎日集まつてお祈りします。この時、神学校の為に献金が毎回集められます。

の楽器を全部使ってますのです。神父様はジャワ語が話せない為、典礼は信徒が受け、司祭は御聖体と御血を献示するところだけです。今は女の手もミサ答え（侍者）をします。ジャワの教会はどこも大きくて聖堂も大きくて広いのですが、御ミサはどこも信者がはみ出して外



あこがれの地 南の島で  
ベルナデッタ シスター 千葉礼子さん

彼らは貧しくても、夕方になると仕事をやめて樂しそうに隣の人と話しています。日本人ならば、その時間を有効に使うでしょう。彼らは日本人に、後姿で日本人がわかるとか、歩き方で中国人と日本人が見分けられるとか言います。考えてみると、日本人は忙しすぎて内面を見つめると、というか、仕事のことを考えるだけが精一杯で、靈的な面を成長させる時間がない。何か欠けているのですね。金持たずの中国人にも似かよつたところがあります。向うの人は説教を準備する為に、同祭の話をよく聞き、学びます。靈的な事ですよね。

一典札とか御ミサの特徴はありますか。

Sr 大きなお祝い日などは300位の代表的な民族衣装を着けます。例えば

— また行かれますか、水住ですか  
Sr 10月中頃に行きます。水住のつもりですが許可がおりません。今までおられる神父様は減りつつあり、又布教者が縮め出されつあります。現地の司祭は増えつつあります。ですが司祭になる道は厳しいようです。

インドネシアのスマトラ島・メダン（スマトラで一番大きな町）のカトリックの学校（貧しい子供の為）で、理事の仕事をしながら、教会の仕事をしておられる。1978年に行かれ6年半になられる。

## ★小教区の貢★

## 松阪教会



殉教の絵



十一月三日文化の日、ここ松阪では戦国の時代絵巻「氏郷まつり」が繰り広げられます。松阪開府の祖、蒲生氏郷の遺徳を偶ぶこの時代行列は、当初松阪カトリック教会から出発していました。天正十六年（一五八八年）、キリストイー・蒲生氏郷は当地に入城し、松阪と命名。氏郷とともに信仰の種もまかれました。しかし、その芽も鳥谷家一門の殉教の後、やがて消え失せたといいます。教会の聖堂後部に、殉教の絵はあります。

時は移って昭和二年五月、松阪における初めてのミサがメリノール宣教会ウォーナー神父によつて、集会者七名とともに捧げられました。養老院はどうですか、この町には身寄りの無いお年寄りがたくさんあります。昭和三年五月二月開設しました。老人ホーム（現・特養ホーム）——スキンバウク神父様は、松阪市当局に何がこの町に必要かを聞きに行きました。市は保育園を望みましたが、神父様は賛成しません。「幼児を育てることは母親の大好きな仕事ですヨ」と、「それよりも、松阪と命名。氏郷とともに信仰の種もまかれました。しかし、その芽も鳥谷家一門の殉教の後、やがて消え失せたといいます。教会の聖堂後部に、殉教の絵はあります。

三雲児童園（現・カトリックの家）、「神父さん、建てる、造る」といつても資金はあるんですか」と、県児童課の課長さん、「はい、マリア様が何んとかしてくれます」と神父様、課長補佐の〇さんは随行の伝道師Kさんに小声で聞きました。「マリアさんとかいう金持ちがほんとおるんですか？」昭和四〇年一月開園しました。

「十五年の歩み、誌は次のように記しています。

（記 北川保）

金はあるんですか」と、県児童課の課長さん、「はい、マリア様が何んとかしてくれます」と神父様、課長補佐の〇さんは随行の伝道師Kさんに小声で聞きました。「マリアさんとかいう金持ちがほんとおるんですか？」昭和四〇年一月開園しました。



私たちは献堂二五周年を祝いました。六年には主任司祭マキロップ神父様が叙階五〇年を迎えられます。若者が少なく、家族的雰囲気の教会をいかにも歩む教会

祭り好きな国民性に、春は「聖母まつり」の行列と「舞踊の催し」、夏は「盆踊り大会」秋は市民と共に「氏郷まつり」の時代行列等々。死者に対する宗教的感情を配慮して日本のキリスト教会とは無縁だった納骨堂と位牌をつくり、葬儀と命日に香をたき、墓地と墓石を造り、先祖崇敬のために十字架のある家庭祭壇をつくった。何れも松阪教会が発祥? 地となつた……。

去る五四年、

祭り好きな国民性に、春は「聖母まつり」の行列と「舞踊の催し」、夏は「盆踊り大会」秋は市民と共に「氏郷まつり」の時代行列等々。死者に対する宗教

インドシナ難民のため募金をしたり、物質を送ったり、

何らかの形で援助した事のある人は多いでしょう。また、

ボートビーブルと言われる、

日本に定住を望むベトナムの

人々にも、職業、住宅の提供

などが行われています。しか

し、まだまだ、日本の受け入

れも難しく問題が多いと聞きます。そんな中でベトナムの

少年を里子として預つておら

れる石原淳一さん御一家(松

阪教会)がいらっしゃいます。

御夫婦にインタビューしまし



石原淳一さんご夫婦・智子ちゃん

## 社会と共に歩む人物記へ16▽

里親として……

だから頼る人、つまり、引受け人がいる訳です。誰も知らなければ脱出しても収容所にいるだけです。この子の場合は国を出てから約一年近く香港に居た訳です。

駄に過すというのも、気の毒だと思いまして、話が進みました。

「ファン君が来られて、どうでしたか。」「皆さんご親切なのですが、特別扱いする事は避けて頂きたい。教育には一貫性が必要です。自立出来るよう私たちも努力していますが、困る事があります。」

「最後に里親になられて感じられた事は?」

「難しい面はあります。やはり、や

り難いのに相当地時間がかかりました。彼は日本に定住しますから、必要な事を教えていこうとするのですが、なかなか

話せる状態でした。その間に、ある程度生活習慣が多少違いますので、お風呂など慣れるのに相当時間がかかりました。彼もカトリックで教えていこうとするのですが、なかなか

難しいのです。

「ご兄弟との仲は。」「いいですね。年令が離れていますから、喧嘩もしません。ファン君も明るく優しい性格ですので、子供達を大事にしてくれます。子供も親とファン君との間を取り持ってくれるような所があります。」

地元中学校に行かれているのですね。」「入学に際して、教育委員会は就学年令が過ぎていると決られ、校長先生もいじめられないか相当心配されたようです。しかし、この子自身、朗らかで人に好かれます。全校生徒が声をかけてくれるようになります。一時はサインをくれという事もあつたらしい。勉強は、

「信迎の証しをするには、闘いが伴うものであると感じました。これからも、いろいろな事を反省し、私共にできることを行いたいものと念じています。……」

後日、石原さんからお葉書を頂きました。人に本気でかかる事を、今まで私はやつて来たかななど。石原さんご家族に出会えた事を感謝。

♥ます、御家族を紹介して頂けますか。  
一「私と妻、とし子、長男、智彦11才、長女智子7才、そして、グエン・バ・フオン君17才です。地元の中学校(二年生)に行っています。ザッカーパー部に入っています。で、今日はクラブで遅くなりま

す。そういう方が二千人位いるらしいです。そういう方が二千人位いるらしいです。そういう方が二千人位いるらしいです。そういう方が二千人位いるらしいです。そういう方が二千人位いるらしいです。そういう方が二千人位いるらしいです。」

♥ファン君を引取る動機というのをお聞かせ下さいますか。」「今、ボートビーブルの問題がなんだらか社会化してきましたが、物質だけ援助してなかなか定住という事に力を入れないものですから、やはり実質的な面で援助していただきたいという事を思いました。何か家も一人位というような事が頭に浮かんで、家内に相談しました。「いいですよ」という事でしたので、身寄りがない小さいお子さんをと、最初は思っていたのですが、国際事業団からの連絡

で、年は上だが、カトリック信者の少年がいる。身元引受け人が無いと出られない事を知り、青春をそんなキヤンフで無係で日本へ脱出して来ているのですね。」

「最初から三人はバラバラに出て来ています。おじさんが鎌倉にいます。レポート会の修道士なのです。その関係で日本へ脱出して来ているのですね。」



ファン君と智彦くん

「ファン君が来られて、どうでしたか。」「皆さんご親切なのですが、特別扱いする事は避けて頂きたい。教育には一貫性が必要です。自立出来るよう私たちも努力していますが、困る事があります。」

「最後に里親になられて感じられた事は?」

「難しい面はあります。やはり、や

り難いのに相当地時間がかかりました。彼もカトリックで教

えていこうとするのですが、なかなか

話せる状態でした。その間に、ある程度

生活習慣が多少違いますので、お風呂など慣れるのに相当時間がかかりました。彼もカトリックで教

えていこうとするのですが、なかなか

話せる状態でした。その

# わたくしはさかなのよう

村上トマ編集長



京都教区時報が再スタートして早、六年がたちました。いつも暖かいお励まし、ご協力をいただきありがとうございます。  
さて、時報を通じ、教区の動静、小教区活動などの広報に努めてまいりましたが、ここで今までの問題を見直し、もつとよいメディア(情報機関)になるよう刷新する時期ではないかと考えました。

『字が多くて内容が堅い』『京都南部の情報に片寄っている』『楽しく読みやすい記事がない』等々のご意見に答え、よりよい「ミミコニケーション」の場となるよう、**1月より、毎月発行、字も大きく読みやすくなり、内容も生まれ変わる事になりました。**

折りしも、教区では、司牧評議会に向けて準備が進んでいます。司教のもとに、神父、修道者、信徒が一つになつてキリストに向い歩んでゆくという、特にキリスト教人口の少ない我国にはとても必要で、重要な機関です。しかし、一つになる…という事は、口で言うほどたやすい事ではありません。相手をよく知り、自分も理解される。本音で語り合う。そして、自分たちの足りない所は思いやりで補い合う…それでこそ本当の一致が生まれるのではないか。

教区時報を育てて下さるのは、あなたの役目です。ご意見、聞かせて下さい。疑問に思った事、信仰体験の分かれ合い…何でも結構です。できる限り一人一人の声を大切にする時報になりたいと思います。

## 投稿の方法

◎新しい内容  
▽司教の足どり+司教の笑顔・横顔  
▽司牧評議会お知らせ  
▽ミサの豆知識  
▽神父様探訪・修道院探訪  
▽子供のページ  
▽お楽しみワクワクコーナー

四百字以内、たて書き。趣旨を変える程度に直す場合もあります。

小教区お知らせはハガキでどうぞ  
▽原稿は返しません。掲載をもつて採否の連絡にかえます。▽採用分には記念品進呈。▽住所、郵便番号、氏名、職業、年齢、電話番号、所属教会を明記のうえ、〒六〇六京都府左京区仁王門通り新高倉東入、京都カトリック教理センター(教区時報編集部)宛

◆才媛の大キナ子、アレ満腹してんの、何々、栄養失調。あ、ハエが涙をなめる、どうして? 追い払う力がないのか?  
◆百才以上が千五百人を超える結構な世の中。三〇年余の学校給食制も子どもの発育に大いに貢献。でも長母、健康、溢れる物質が、何のため? 向けられているかを考えさせるこの頃ではある。読んでも貴方どう思いますか?

◆秋の夜長、ふと田約図書を読もうとした。面白いページを開きました。面白くて、氣に読破! と言つても大養道子さんの少年少女の為の聖書物語。神様への100%の信頼は大切。でも、核戦争目前みたいな世の中、神様、人間は一体どうなるの?  
◆教区報も「刷新」時か、愛読者諸氏、から色々なお声を賜わる。大方は賛成! 編集時間も儘ならず(何せ忙しい! 息知)やや消化不良ぎみ! だつたのだが、お恵みはあるものの、最近活性剤のお日様を頂いて漸くよくなってきた。乞う御期待を!

(K)

本紙を福音宣教に役立たせるため、ご近所、お友だちにもお見せ下さい。



時報が対話  
の手段なら  
者も読む者  
ば「互いに  
も、投稿者  
心を開けあ  
も編集者も。